

新しい学びのスタイル！ ギガタブ登場

今年度から始まった1人1台タブレットPCの導入(GIGAスクール構想)は、子どもたちの学び方を変えようとしています。

タブレットPCの愛称は「ギガタブ」。これまでの授業にギガタブを取り入れることで、授業の質を向上させることが、一つのねらいです。もう一つのねらいは、子どもたちのデジタル関連能力の向上です。具体的には、授業の中で、一人一人の考えをリアルタイムで共有したり、双方向で意見交換したりする学習、インターネット等を用いた調べ学習、写真・動画・音声等を用いた多様な資料・作品の制作、また一人一人の教育的ニーズや学習状況に応じた個別学習などにも活用できます。

本校では、低学年の児童も積極的にギガタブを使い始めています。子どもたちは、一生懸命、先生の説明を聞き、初めて触るギガタブにドキドキしながら、キーボード入力をしたり、絵画制作、写真撮影(植物など)、インターネットで調べ学習をしたりしています。

6月中には、ギガタブをご家庭に持ち帰って、学校と家庭をつなぐ接続テストを行う予定です。

何より、子どもたちが、学習に意欲的に取り組み、わかること、できることを喜びに思えることが一番重要です。ギガタブ登場で、学びのスタイルは変わりつつありますが、大切なことは忘れずに進めていきます。



校長 小谷 泰也